

2024年12月29日 八ヶ岳 大同心稜～横岳

メンバー L谷内、村中

前日の天気予報が悪かったため29日に延期しましたが、当日は荒れた天気となりました。当日予報は昼頃まで晴れるとのこと。朝方は薄曇りでしたが、天候の回復を期待して出発しました。

赤岳鉱泉の北側を直進し、標識に従って大同心沢の方向へ進みます。10分ほど歩いた後、左手の尾根を登り始めました。林道内は風がなく快適でしたが、天候の回復を待ちながらの登りでした。しかし途中から雪がちらつき始め、大同心基部に到着する頃には吹雪に変わりました。視界はほとんどなく、手元や10～20メートル先を見ながら進むしかありませんでした。

大同心ルンゼでは予想通り下から吹き上げる風に煽られ、厳しい状況が続きました。稜線に出たときは一瞬ゴールと思いましたが、ここからが本番でした。吹き溜まりでは腰上までの深さをラッセルし、風が抜ける場所では西風が雪粒を叩きつけてきます。時折、こぶし大の雪の塊が飛んでくるほどでした。視界が悪く、さらに眼鏡に雪が凍りつき、手元を見るのがやっとの状態。谷底が見えなかったおかげで恐怖感はほとんどありませんでした。

地蔵尾根では向かい風が強く、鎖を使いながら慎重にバランスを取りつつ下山しました。行者小屋手前の樹林帯で装備を解除し、休憩も取らずに美濃戸駐車場へ到着しました。

今回のコースは比較的優しい冬山バリエーションのはずでしたが、悪天候により本格的な冬山訓練のようになってしまいました。天候次第で山の状況が大きく変わることを実感しました。

コースタイム

5:30 美濃戸駐車場 - 7:20 赤岳鉱泉着 - 7:45 赤岳鉱泉発 - 8:50 大同心基部 - 9:45 稜線 - 10:10 横岳 - 12:15 行者小屋 - 13:50 美濃戸駐車場



